

1 人口政策に伴うまちづくりについて

(1) 磐田市の現況と課題、今後について

合併後の磐田市の人口の推移（合併前の5市町村別に）と見解を伺う。

都市計画としてのまちづくりの考え方は。コンパクトシティーへの考え方についても伺う。

有効求人倍率が0.84（7月現在）と低いが、磐田市の雇用について、市長の見解を伺う。中でも、若者雇用、女性雇用の動向はどうか。賃金面からも伺う。さらに、最近高齢になった親の介護を機に、自宅に戻ってきた方の雇用が見つからず貧困世帯になっていると聞くと、磐田市の現状について伺う。また、見解を伺う。

今後の磐田市の人口政策を市長はどう捉え、まちづくりをどう描いていくのか伺う。

(2) 交通政策について

デマンドタクシーの現況と今までの総括、課題を伺う。

デマンドタクシー利便性向上策について考えがあるか。現況の地区の枠を拡大できないか。また免許返納者への優遇措置はできないか伺う。

高齢者の余暇支援、生活支援（買い物など）という視点からの交通政策をどう考えているか。今年4月から地区交流センターが地区の拠点として位置づけられたが、センター付乗合バス（8名～10名程度）設置の考えはないか伺う。

## 2 次世代を担う子どもたちが豊かな学校生活を送るために

- (1) 磐田市コミュニティ・スクールの活動の現況について伺う。また、方向性と子どもの未来像をどう描いているのか伺う。
- (2) 小中一体校構想が打ち出された。建物の老朽化の解消以外に、磐田市が求める教育理念、磐田市の特徴、財政根拠について伺う。今後少子化が進む中、施設規模の見込みを伺う。
- (3) 小学校1年生が学校の和式トイレに戸惑っていると聞く。現況と洋式トイレの普及状況、今後の計画を伺う。また、臭気対策についても伺う。
- (4) 最近の異常気象の中、小・中学校の空調設備の現況と今後の計画を伺う。特に夏休みの補習や部活動における状況と健康面での配慮は。
- (5) 現在の磐田地区の自校式給食を含め、今後の磐田市の給食方式の方向性を伺う。
- (6) 夏休み明け授業が始まる9月1日に自殺する子どもが年間通じて最も多くなる。この時期、子どもの見守りを徹底する取り組みが各地で紹介されているが、磐田市はどうか。また、磐田市の生徒や保護者の相談体制の現況と課題を伺う。